

本復旧工事の予定

現在は出水期の洪水被害を防止するため、被災箇所の応急復旧を行っているところですが、今年の11月からの非出水期になりましたら、本格的に災害復旧工事を実施していく予定です。

霞ヶ浦開発施設

湖岸堤で被害を受けた41箇所を実施し、各区間長の合計は約20kmとなります。

利根川河口堰

護岸の左岸上流・下流及び右岸上流・下流の4箇所、全長約298mが鋼矢板による復旧となります。

復興に向けたイベント紹介

5月29日(日)、東日本大震災の被災地栃木市の常陸利根川周辺で今年もトライアスロン全国大会が開催されました。第25回となるこの大会は、日本を代表する数々の名選手を育てた歴史ある大会。



アクアスロン「スイム」

3月11日の大地震でバイクのコースとなる地区に大きな被害があり開催が危ぶまれましたが、大会関係者の熱意で競技内容をスイムとランの2種目とするアクアスロンに変更のうえ「がんばれ栃木応援大会」として開催されたものです。当日は朝から雨の降る肌寒いコンディションでしたが、約90人の選手が懸命に泳ぎ、走っていました。震災から早く復興し、来年は3つの種目で大会が開催されることを願うばかりです。



アクアスロン「ラン」ゴールする選手

また、今年で60回目を迎えた「水郷 湖東あやめまつり大会」も5月21日(土)～6月26日(日)に湖東市で開催され、市民が誇れる観光地づくりを目指し全国へ復興がアピールされました。



湖東花嫁さんをお乗せした嫁入り舟

イベントのお知らせ

「霞ヶ浦ふれあいフェスタ」

開催日時 平成23年8月7日(日) 9:30～16:00
 会場 霞ヶ浦ふれあいランド
 電話 0299-79-3311
 内容 霞ヶ浦ふれあいランド無料開放・親子で楽しめる水の体験・水のワークショップ・霞ヶ浦まるごとグルメフェスタ
 HPアドレス <http://www.water.go.jp/kanto/kasuniga/>

「河口堰フェスタ2011」

開催日時 平成23年8月7日(日) 9:30～14:30
 会場 利根川河口堰管理所
 電話 0478-86-0477
 内容 船上見学・操作室見学・東庄町物産展・施設概要DVD上映・水広場
 HPアドレス <http://www.water.go.jp/kanto/tonekako/>

◆今年の水の週間(8/1～7)テーマ:「水の恵み～東日本大震災を機に考える～」

編集後記

本号「水の郷から」は、東日本大震災の特集として編集しました。今も余震が頻る中、地域とともに復興への道のりを進んでいきます。8月の「水の週間」では、茨城県、東庄町、行方市開発公社と合同イベントを開催致しますので元気をとりもどす良い機会となれば幸いです。

利根川下流総合管理所 〒300-0732 茨城県稲敷市上之島3112 電話0299-79-3311 FAX 0299-79-3316
 利根川河口堰管理所 〒289-0611 千葉県香取郡東庄町新館2278 電話0478-86-0477 FAX 0478-86-3457
 玉造管理所 〒311-3512 茨城県行方市玉造甲1234 電話0299-55-4331 FAX 0299-55-4310

※ご意見、ご質問等ございましたらご連絡ください。(メールアドレス:mizu-tonekaryu@nifty.com)

水の郷から

～水がささえる豊かな社会～ 特別号

2011年(平成23年)7月発行

発行所
 独立行政法人水資源機構
 利根川下流総合管理所
 広報誌編集委員会
 メールアドレス
mizu-tonekaryu@nifty.com
 ホームページアドレス
<http://www.water.go.jp/kanto/kasuniga/>

東日本大震災後の復旧について

東日本大震災で被災された方々にお見舞い申し上げます。現在、被災した施設の復旧に向け全力で取り組んでいます。

関係者の皆様には大変迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



利根川下流総合管理所 所長 高橋武彦 (平成23年4月1日就任)

霞ヶ浦周辺地域、利根川下流沿川及び関係者の皆さまには、平素から霞ヶ浦開発管理業務並びに利根川河口堰管理業務につきまして、ご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

利根川下流総合管理所は、「霞ヶ浦開発施設」と「利根川河口堰」の管理を行っています。霞ヶ浦開発施設は、湖沼周辺を洪水から守るための治水と茨城県・千葉県・東京都の水道、農業用水、工業用水の新規利水の供給を目的に平成8年4月から管理を行っています。利根川河口堰は、塩害から利根川下流域を守るとともに東京都・千葉県・埼玉県・茨城県の水道および工業用水の新規利水の供給を目的に昭和46年4月から管理を行っています。

平成23年3月11日、東日本大震災により霞ヶ浦の堤防、利根川河口堰護岸などの施設が被災を受けました。このため、治水・利水面から早急に復旧工事を行う必要があり、3月15日から応急復旧工事を実施してきました。

現在、霞ヶ浦堤防・利根川河口堰護岸の被災箇所の応急復旧も概ね終了し、出水期後からの本復旧工事実施に向け準備を進めているところです。また、大震災を教訓に設備点検要領の見直しを図るなど、危機管理に向けた取組も行っています。

被災された地域においても復旧・復興に向け少しずつ動き始め、あやめ祭り、トライアスロン大会などの地域イベントも開催され、少しずつ元気を取り戻しています。私たちも、地域の安全・安心に向け全力で復旧工事を実施しているところです。1日も早く今までの姿を取り戻せるように職員一同頑張っていきます。



霞ヶ浦開発施設(北湖)湖岸堤の沈下



霞ヶ浦開発施設(北湖)

管理施設の被災及び応急復旧状況

霞ヶ浦周辺では最大震度6弱を観測し、機帯の管理施設も広範囲に被災しました。霞ヶ浦開発施設(茨城県)の基幹施設である堤岸堤は、全長約78km中、約20kmの区間で堤防沈下、亀裂、段差などの損傷が発生し、湖岸堤と一体的に設置している樋門では、段差が生じるなど堤防機能が大きく損なわれました。一方、利根川河口堰(千葉県・茨城県)では震度5強を観測し、堰の上下流の護岸が沈下・変状するなどの損傷を受けました。震災直後からこれまでに今年の出水期を乗り切るため、損傷を受けた施設の応急対策工事を実施しました。

